



私たちが日本人を受け入れるのと同じように、日本人もフィリピン人を受け入れてほしい。そして日本人を愛するように、日本人もフィリピン人を愛してほしい。

プロフィール

日系二世の夫とフィリピンで出会い結婚。その後、家族で日本に移住。6人の子どものお母さんだけではなく同じ地域に住む外国籍住民の方達の「お母さん」としても良き相談役を努めている。また、地元の国際交流協会のボランティアとしても活躍。県の青少年育成事業においても、青年にホームステイを提供し、多くの青年が彼女の情熱と愛情に励まされ、「お母さん」を再度尋ねる青年もいるほどである。甲賀市在住。フィリピン人。

来日されたきっかけは。

夫は日本人の父、フィリピン人の母を持つ日系二世です。彼は、私が出合ったときは国際船に乗って世界をずっと回っていました。その頃、フィリピンで一人の日本人に会ったのです。その方との出会いがきっかけとなり家族で日本に来ました。

日本に来られたときの最初の印象は。

来日当初は、差別なども受けましたが、だんだん日本の生活に適應することができました。また、日本の友だちもでき、招待もしてくれました。いろいろな外国の方にも、日本で出会いました。いろいろな人に会おううちに、相手の心に出会いたい、触れたいという気持ちになりました。

しかしながら、いろいろな困難、あざけりや差別、そういう体験がありました。例をあげると、昔スーパーへ買い物に行ったときに、日本茶を探しておりました。お茶のコーナーに55歳～60歳ぐらいの店員がいました。よく分からなかったので「すみません、グリーンティーはどこですか」と聞いてみました。「わたし、かんじわからない。にほんごもわからない。」と言いました。ところが、答えは「分からない」という言葉しか返ってこなくて、彼はすぐに立ち去ってしまったのです。

地元で活発に活動をされていると聞きました。

私は、ボランティアとして、ホームステイを引き受けています。実に楽しいです。私の目的も、日本の方から完全に言葉を覚えて話したい、そして日本の方に英語を教えてあげたいという両面があります。

私の所に来る学生に、私は自分の子どもの1人として接し、フィリピンの料理を教えたり、ケーキも得意なのでケーキ作りを教えたりします。日本人と思うことよりも、同じ人間として、そして私自身の娘としてとらえたいと思います。電話でもよく話をしておりますし、本当に心から愛しております。**ホームステイを受け入れるきっかけは何があったのですか。**

それは、日本人にフィリピンの生活を知ってほしいからです。生活を共にする中で、私自身が持っている人間としての寛大さ、心の広さというものを示したい。そして、それを示せば受けるほうも寛大になり、お互いにそういう気持ちになるということを確認しています。また私自身も、愛情をもって受け入れをずっと続けていきたいと思ったからです。

実際に、フィリピンの人たちは不幸な人も多いです。だから、私は助けたいのです。助けるためには、日本人に私たちの状況をよく知ってもらいたい。日本人と多く接することでフィリピンの本当のことを、フィリピンの人たちの状況を知ってもらいたいという願いがあるわけです。

だからホームステイの話が来たときは即答で「イエス」と快く引き受けました。日本人とフィリピン人の持つ感情の違いをちょっと見てみたいと思いました。たとえば「ラブ」ということです。私たちがフィリピン人を愛するように、日本人もフィリピン人を愛するだろうかと思いながらだったのですが、ホームステイを引き受けて、日本人の心もフィリピン人の心も、人を愛する

ということについては同じであるし、同じ心を持っているということが分かりました。私たちが日本人を受け入れるのと同じように、日本人もフィリピン人を受け入れてほしい。そして日本人を愛するように、日本人もフィリピン人を愛してほしい。そしてホームステイを通じて実際に愛してくれるのだということが分かりました。

小学校にも行っておられると聞いたのですが、小学校ではどのような活動をされているのですか。

大野小学校で子どもたちにフィリピンの文化や習慣を伝えています。

フィリピンの生活スタイル、クリスマスについてもデモンストレーションをしました。それからフィリピンの「ジップニー」という乗り物がありまして、これは公的な交通手段の三輪車です。そういった文化なども紹介しています。フィリピンには三輪車やバスやタクシー、いろいろ交通手段がありますが、車を持っている人もいますが、私たちは別になくてもそれほど深刻に考えておりません。

また、食文化についても教えております。私自身も非常に料理が好きです。私は料理をする時に、すべてを無駄にしないというフィリピンで教わったことを実践しています。私の主義は、たくさん作って予算をうまく使う、無駄をしないことです。

最後に、滋賀県の方々に何かメッセージをいただけますか。

お互いに理解しあう、相互理解をするということと、そして皆、一丸となって一緒にやっということうことです。国籍、言葉は関係ありません。私にとっては愛情、「ラブ」というものが一番、最大のものであり、これは世界中にとっても一番大事なものだと思います。この愛情さえあれば、すべての人の心をとらえるというか、まとめることができるかと確信しております。